

【参考資料】

「第8回統合準備会資料、総務部会からの報告（抜粋）ほか」

神社小学校・大湊小学校統合校の校名候補選定について

1. 募集にあたってのコンセプト

- ・統合対象校の伝統や歴史を尊重したうえで、児童生徒が夢と希望を持てるような、また児童生徒・保護者や地域住民から愛され親しまれるような新しい学校にふさわしい校名にし、開校への雰囲気醸成する

2. 校名候補の選定方法

（公募前に確認されたこと）

○校名決定のプロセス

- ・総務部会→統合準備会→教育委員会→市議会

○統合準備会においては、校名候補を決める。

- ・具体的には、公募後、総務部会及び統合準備会において、多数票ではなく、理由などを参考にして何点かに絞り込み、優先順位をつける。

3. 総務部会（H26.11.21）で話し合われたこと

【選定の視点】

- ・選定する視点を検討し、その視点に沿って話し合っていく。
 - 「読み方が分かりにくいものや長い名前は避ける」という視点
 - 「新しい学校をつくっていく」という視点
 - 「狭い地域ではなく、広い校区をイメージできるもの」という視点
 - 「誰もが親しめる名前」という視点 など



◎話し合われた内容

① 校名候補選定について〈意見・感想等〉

- ・読みやすい名前がいい。
- ・両校の地域性を考慮する方がいい。
- ・共通なものがいい。
- ・両地区が仲良くなるような名前がいい。 など

② 総務部会の提案

- ・総務部会として上記の案を統合準備会に提案する。
- ・統合準備委員の意見も取り入れる。

【結果】総務部会としての校名候補案〈7候補〉（全304点76種より）

（伊勢みなと小）（いせみなと小）（大神小）（神湊小）（港小）（みなと小）（下野小）

4. 第8回神社小・大湊小統合準備会より

① 校名候補選定について

〈意見・感想等〉

- ・総務部会が提案したものがいい。
- ・インパクトがある名前があればそれもいい。
- ・みんなが納得する名前がいい。
- ・両校の名前から離れたもので、両校をイメージできるものもいい。 など

② 話し合った結果

- ・海風小を加える。
- ・校名案に込められた思いや理由を読み取り、他にいい名前がないか考えてくる。
- ・時間をかけてしっかり選考していく。

以上より、（海風小）も含め、8候補になりました。

【結果】

（伊勢みなと小）（いせみなと小）（大神小）（神湊小）（港小）（みなと小）（下野小）（海風小）

(参考)

伊勢みなと		・伊勢の地をアピールしながら、みなと学区であるから。
いせみなと	いせみなと	・大湊の「みなと」と神社港の「みなと」。 ・港中学校と区別して平仮名で「みなと」。
大神	おおかみ おおがみ おおじん おおみかみ たいしん だいしん だいじん	・大湊、神社とも歴史と伝統のある古い町です。今般の統合に際し、両町名の頭文字を使って分かりやすく、呼びやすい「大神」とした。 ・大湊の「大」、神社の「神」を合わせた。また、天照大神、豊受大神の「大神」から。 ・画数も少なく書きやすくて覚えやすい。また、両校から1文字ずつ使ったので、どちらの人も気持ちよく学校へ行けるから。
神湊	かみなと かみみなと こうのみなと しんこう しんそう じんそう しんみなと	・神社の「神」と大湊の「湊」を合わせた。伊勢神宮に奉納をする品々が入ってくる湊ということから。 ・海からお参り客を迎えた町の「神」と港中学校の文字とは異なる、「湊」の校名を入れるため。 ・大湊と神社は伊勢の海の玄関口神宮への玄関口で神の湊とするから良い。
港	みなと	・大湊と神社の共通点は「港」。港中学校があるので、分かりやすい。 ・大「港」と神社「港」の合併なので。神社も大湊も海が近くて、新校名でも誤読もなく、親近感がある。 ・神社港の「港」と大湊の「みなと」。 ・中学校が「港中学校」だから。 ・「港中学校」ものちに統合しなくなってしまう。 ・思い出に残る歴史を大切にす為、「港小学校」がふさわしい。 ・神社小・大湊小とも「港」にゆかりがあり、別の名前は付かないと思う。中学校も「港中学校」なので、小学校も「港小学校」とすべき。 ・神社港・大湊は古くより海運の要として栄え、江戸時代には諸国の船がこの港に立ち寄った。また明治時代までは、海路で伊勢神宮に來た人々を迎え入れる海の玄関口で大変な盛況であった。その海の玄関口である「港」から。 ・大湊小と神社小は港中学校区内にあり、「港」という言葉に両地区とも馴染みがある。「水戸（みなと）」というのは、水の入り込んでいる港のことで、今の湊から神社港辺りの湾口を広く称したものとされている。神社地区、大湊地区だけでなく伊勢の人に覚えてもらいやすい。
みなと	みなと	・神社地区、大湊地区＝みなと地区のため。 ・神社港の「港」と大湊の「湊」の共通「みなと」を校名案とした。 ・大湊・神社は昔、船で伊勢参りに訪れた人々の玄関であり、船造りの技術などの文化が今も大切に受け継がれている。これらは、私たち住民にとって誇りであり、自慢である。このような内容を含み「港」という単純な漢字の意味ではなく、広い大きな意味を「みなと」という言葉に込めた。港中学校と同じ名称とするが。中学校と区別するため平仮名で「みなと」とする。 ・両地区には「港中学校」があるため小学校も同じ校名が良い。また、親しみやすさから平仮名の「みなと」が良い。
下野	しもの	・建設予定地が下野町地区にあり、地域に密着した校名が良いから。 ・地域の名前がついていると親しみやすいから。
海風	うみかぜ	・神社も大湊も海風をあびて、元気に育つ子どもたちの学校だから。